

揖斐川堤防整備事業などの推進を国へ要望しました

2月6日(火)、岡部町長が、財務省国土交通省、林野庁および地元選出国會議員等へ要望活動を実施しました。

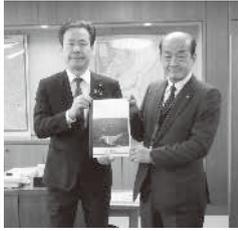
《要望内容》揖斐川堤防整備事業・越美山系砂防事業・木曾川水系連絡導水路事業・治山事業・林道事業など公共事業の予算確保・事業推進

《主な要望先》瀬戸財務大臣政務官／こやり国土交通大臣政務官／青山林野庁長官／金尾水資源機構理事長／棚橋衆議院議員／渡辺参議院議員

※要望時の氏名役職名で記載しています。



【林野庁】  
青山林野庁長官へ要望書を手渡す岡部町長



【国土交通省】  
こやり国土交通大臣政務官へ要望書を手渡す岡部町長



【財務省】  
瀬戸財務大臣政務官へ要望書を手渡す岡部町長

竹のイルミネーション制作ワークショップ開催

日本遺産に登録されている西国三十三所観音巡礼谷汲山華嚴寺を活用し、地域が主体となって活性化に繋げようと、2月16日(金)、谷汲中学校技術室で、竹のぬくもりイルミネーション制作ワークショップが行われました。

この取組みは、日本遺産活用推進協議会が主催、講師には竹あかり作家の川淵皓平さん(三重県)をお招きし、谷汲中学校の生徒と地域住民が参加しました。参加者は30cmほどの竹に思いのデザインで小ささまざまな穴をあけ、熱心に作業していました。

制作した作品は、3月19日(火)から谷汲山華嚴寺で開催される竹のぬくもりイルミネーションで展示されます。



▲川淵さんから指導を受ける参加者の皆さん

「岐大生住んでみようプロジェクト」に関する協定を締結

2月26日(月)、揖斐川町役場公室で、揖斐川町と岐阜大学の連携による「岐大生住んでみようプロジェクト」に関する協定を締結しました。

この協定は、岐阜大学の学生が町内の住宅に住みながら地域の活動に取り組むことで地域の活性化を図るとともに、他県などの遠隔地から大学へ通う学生の通学負担軽減による学業の充実を目的として締結されたものです。

締結式で吉田学長は「学生が地域の歴史や文化を学ぶとともに地域活性化にも貢献できれば」と話し、岡部町長は「新たな地域活性化のモデル事業となれば」と期待を込めました。



▲協定を締結した岡部町長(左)と吉田学長(右)

あたたかい善意

揖斐川町役場へ

1月29日(月)、(有)揖斐川清掃代表取締役 宮本実浩様から社会教育振興のために、寄附金100万円をいただきました。



▲目録を贈呈した宮本代表取締役(右)

能登半島地震義援金

2月28日(水)、揖斐川町老人クラブ連合会様より、能登半島地震の義援金として27万円をお預かりしました。この義援金は日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。



▲目録を贈呈した揖斐川町老人クラブ連合会の皆さん